

## 平成15年度事業報告書

### 1 学術研究業績の表彰

本財団の寄付行為に定められている目的を実現する方策として設立した日本農学進歩賞は、日本の農学に従事している萌芽的な研究成果をあげた若手研究者を毎年10名程度顕彰する制度である。今年度は30件の応募があり10名を表彰した。

第2回農学進歩賞授賞式及び記念講演会を平成15年11月27日（木）に実施した。

また、昨年度新設したアジア獣医学奨励賞（ヒルズ・アワード）をアジアの獣医学大学学部等に在籍する若手、中堅大学の中から4名に顕彰するため選考を行った。

### 2. 農事に関する重要な事項の調査

#### (1) 日本技術者教育認定機構（JABEE）技術者教育プログラム（農学一般関連分野）審査事業

日本技術者教育認定機構（JABEE）の幹事学協会として2校の技術者教育プログラム（農学一般関連分野）の審査を実施した。

#### (2) 日本技術者教育認定機構（JABEE）普及指導活動

① JABEEでは平成13年度からJABEE公認の分野審査員研修を開催することを認め、農業工学関連分野・農学一般関連分野および森林関連分野の幹事学会である（社）農業土木学会・（財）農学会・日本林学会のほか、生物工学および生物工学関連分野の幹事学会である（社）日本生物工学会（予定）が主催し審査員研修会を開催した。

日時 平成15年8月2日（土）～3日（日）

会場 東京大学農学部 弥生講堂

講師 6名

参加者 133名

#### ② 実地普及指導活動の実施（2校）

○プログラム名 生物圏生命科学科

高等教育機関名 三重大学生物資源学部

分野 農学一般関連

実地相談年月日 平成15年11月10日～11日  
チーム構成 チーム長、他3名  
○プログラム名 専修コース  
高等教育機関名 日本大学生物資源科学部海洋生物資源科学科  
分野 農学一般関連  
実地相談年月日 平成15年12月 1日～ 2日  
チーム構成 チーム長、他2名

### ③講演会講師の派遣（3校）

○東海大学海洋学部 平成15年 7月17日  
○水産大学校 平成15年 7月29日  
○広島大学生物生産学部 平成15年12月17日

## 3. 学術講演会の開催

### (1) 公開セミナーの開催

社会情勢の変動に伴い社会への還元の一環として公開セミナーを財団法人農学会主催で夏と冬に2回開催した。

#### 夏の開催

第1回財団法人農学会公開セミナー

日時 平成15年 9月 6日（土）

午後1時30分～4時30分

会場 東京大学農学部 弥生講堂

テーマ 「未利用バイオマスをいかに活用するか」

講演者 熊澤喜久雄（東京大学名誉教授）

「歴史的経緯と研究の進展」

中道 宏（財団法人日本農業土木総合研究所理事長）

「現状における課題とその解決に向けて」

共催 東京大学大学院農学生命科学研究科

財団法人日本農業土木総合研究所

参加者 198名

#### 冬の開催

第2回財団法人農学会公開セミナー

日時 平成16年 2月 7日（土）

午後1時30分～4時30分

会場 東京大学農学部 弥生講堂

テーマ 「農村の貴重な資源をいかに活かすか」  
講演者 太田信介（農林水産省 農村振興局長）  
「農村の地域資源を巡る今日的課題」  
生源寺眞一（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）  
「農村地域資源の未来：保全と革新」  
共催 東京大学大学院農学生命科学研究科  
参加者 257名

## （2）公開セミナーの共催

東京大学大学院農学生命科学研究科教官の研究成果を社会への還元の一環として年2回春と秋に同研究科と共催で実施した。

### 春の開催

第24回 東京大学農学生命科学研究科公開セミナー  
日時 平成15年6月14日（土）  
午後1時30分～4時30分  
会場 東京大学農学部 弥生講堂  
テーマ 「アジアと農林水産業」  
講演者 田中忠次（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）  
「アジア農業における灌漑の役割」  
高野哲夫（アジア生物資源環境研究センター助教授）  
「中国の農業における土壌への塩類集積の問題とその対策」  
飯山賢治（アジア生物資源環境研究センター教授）  
「東南アジア社会の持続性トリレンマの現状とその打破を目指して」  
主催 東京大学大学院農学生命科学研究科  
参加者 188名

### 秋の開催

第25回 東京大学大学院農学生命科学研究科公開セミナー  
日時 平成15年12月20日（土）  
午後1時30分～4時30分  
会場 東京大学農学部 弥生講堂  
テーマ 「科学と市民による生物多様性と生態系の再生」  
講演者 鷺谷いづみ（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）  
「21世紀COEプログラム『生物多様性・生態系再生研

究拠点』の意義」

武内和彦（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）  
「ランドスケープエコロジーから見た生態系の保全・再生」

西田 睦（東京大学海洋研究所教授）  
「遺伝子科学と生態系の保全・再生」

主 催 東京大学大学院農学生命科学研究科  
参加者 227名

#### 4. 印刷物の刊行

- (1) 第2回日本農学進歩賞受賞者講演要旨集刊行  
年1回、250部（47頁）
- (2) 農学・農業関連分野の情報発信と情報交換を促進するため農学関連の教育研究機関（農学部関係、日本農学会所属学会など）各種農業団体等のホームページの作成、改良、運営を支援した。

#### 5. その他目的を達成するために必要な事業

自主的財源による事業拡大の方策として、弥生講堂内において学会等を開催する諸団体の要望により備品類（液晶プロジェクター、スライドプロジェクター、展示パネル等）の貸出業務を行った。

#### 6. 会議開催について（理事会、評議員会）

平成15年度中に理事会、評議員会を2回開催し、主として次の事項について審議した。

- (1) 平成15年度事業並びに決算について
- (2) 平成16年度事業計画並びに予算について
- (3) JABEE幹事学協会としての事業について
- (4) 農学会の活性化について

#### 7. 資産合計 円

- |          |   |   |
|----------|---|---|
| (1) 流動資産 |   | 円 |
| 現金預金     | 円 |   |
| 未収金      | 円 |   |
| (2) 固定資産 |   | 円 |
| 貸付信託     | 円 |   |

定期預金 円  
什器備品 1,706,040円

負債合計 0円